レバノン中の注目・支援のなかで

今日、第三回公判まで終了し、次回は七月七日に、第四回公判が行われることになりました。第三回公判までの状況を概略的に報告していきたいと思います。

今回の裁判の焦点は、第一に、逮捕の不当性を認めさせ、逮捕そのものを撤回させること。第二に、起訴状に書かれている国家保安局の犯罪隠しのウソを暴いていくこと。第三に、全員の無罪釈放、送還拒否、政治難民の地位を獲得すること、にあります。

裁判は、五月一九日に第一回が非公開で人定質問を中心に行われ、六月九日に第二回が公開で、被告に対する質問が行われました。今日六月一六日の第三回公判は、証人（五人の国家保安局の我々の逮捕と尋問に関わった係官と責任者）に対する質問が行われ、次回は、証拠物品について行われることになっています。

特に、公開で行われた第二回公判は、レバノン中が注目することになりました。とりわけ、五月三〇日に我々の五・三〇声明が報道機関を通して発表され、レバノンの各政党、パレスチナ組織がレバノン政府に対して、再び我々の即時釈放を共同して要求するなど、我々に対する支援が高まっていました。

獄中の我々の方は、声明が発表されたことと、五月二九日に、五・三〇二五年の祝賀行事として、獄中者・監獄当局に二五周年の挨拶と花とアラブ菓子を配って回ったことが報道され、五月三〇日に突如即決棟に移され、差し入れ・面会などに制限が入る状態になってしまいました。それと五月三〇日に予定していた祝賀会が開けなくなりました。これは、獄内外での我々への支援が強まることを恐れたベイルートの政府が我々に対して規制を加えたのです。

しかし、第二回公判はテレビなどで長時間にわたって放映され、しかも、我々の逮捕を策謀した警察庁外事二課出向員で大使館一等書記官である清（せい）を法廷に引きずり出し、テレビでその顔を罪状と共に暴き出したことは、第二回公判の大きな成果でした。その結果として、第三回公判は、カメラ・ビデオは締め出され、清は姿を見せませんでした。

また、第二回公判では、一五〇人の弁護士が我々の弁護に参加することを認めさせることができました。第二回公判では、国会議員であり、左翼のザハル・ハティーブ氏と元カタエブ党の理論家として有名なカリム・パカラドーニ氏が、我々の弁護のために熱弁を振るってくれました。特に、パラカドーニ氏が我々の弁護を引き受けてくれていることには、我々自身が驚かされました。何故なら、彼の所属していた政党は右翼クリスチャンの政党であり、内戦の時には軍事的にも対立していた組織で、改めて今回我々に対する支援・支持の幅広さを実感させられました。

アラブ民族主義の大義 支持の立場を強調

この公判では開廷後、検事の異議をアブデル・サメッド裁判長が退け、一五〇人のボランティア弁護士が我々の主任弁護士であるブシャーラ・アブサイード弁護士と共に公判で我々の弁護を行うことを認めた後、裁判長が起訴状を読み上げるところから始まりました。

この起訴状は、我々赤軍メンバー五人とオマイヤ・アブドさんについて、一つの起訴状として作成されているものです。しかし、我々五人に関しては、旅券・ビザの偽造・使用、不法入国・滞在、身分の偽称などで起訴され、オマイヤさんはそれとは全く無関係な不法医療行為で起訴されています。

裁判長は最初に、足立同志に質問を行いました。起訴事実の認否について、日本政府が不当に手配しているために真正の旅券が使用できず、偽旅券の所持を余儀なくされたことを明らかにし、他の罪状については否認を行いました。裁判長が偽造旅券の問題に移って質問を行おうとしたことに対して、足立同志は日本政府の不当手配には政治的根拠があり、それを明らかにする必要があることを主張した。そして、まず最初にこの裁判に対する我々の立場が、アラブ民族主義の大義を支持すること、それはまたレバノン国家とも共通の立場であること、それに基づいて裁判が行われるべきことを主張した。それに対して検事が政治的発言を封じ、再び旅券問題に引き戻そうとした。足立同志はそれに対して、起訴状に書かれていることは全く事実とかけ離れているものであると発言し、起訴状に書かれている、赤軍という事実を隠すために、我々に対してそのように行うことを要求したという事実を明らかにした。そして、その要求に従うことは、レバノン国家の主権を無視することになるので、我々の側から本名の調書を作成することを要求した、と説明を行った。

日本警察の出向員・清を法廷に引きずり出す

足立同志はこの法廷で、日本警察の出向員・清がいることを暴露し、裁判長に対して、清を法廷に立てることを要求した。

裁判所の警備が裁判長の命令に基づいて清を見つけ出し、他の二人の大使館員と共に証人台に立たせた。このさい清は、姑息にも他の二人の大使館員のそばから離れ、発見されないように逃げていたが、警備に発見され引きずり出されることになった。

裁判長は、足立同志に清に会ったことがあるかを聞いた、足立同志はマキ将軍の尋問に連れ出された時に、日本人の男女の会話を聞いたこと、また、検事総長アドームの立ち会いで、保安局で会ったと語った。弁護士から清をこれ以上攻撃するな、法廷が責任を持って彼を扱うという発言があり、足立同志はそれ以上の清に対する追求を止めた。

ザハルハティーフ弁護士は、一般犯罪でも政治的根拠抜きには判断できないこと、特に偽旅券の所持の理由が政治的根拠の場合、その根拠を含めて審議すべきであると主張し、裁判長はそれを受入れ、足立同志に政治根拠をただした。

岡本同志、アラブの大地に住む権利があると主張

次に、山本万里子同志への質問が行われた。裁判長は最初に起訴事実の認否を行った。山本同志は、偽装旅券の所持については認めるが、それ以外については否認すると応えた。また、偽造を行ったかの質問についても否定した。また、偽造旅券の所持の根拠が、日本政府が不当手配していることであることを明らかにした。

次に、戸平同志への質問が行われた。同様に、最初に起訴事実の認否を行った。戸平同志も所持については認めたが、それ以外については否定した。また、我々は日本政府、米国・シオニストに対して闘っていること、そのために身分を隠して活動する必要があったことなどを述べた。

次に岡本同志に対して質問が行われた。それに先立って戸平同志が、岡本同志が精神障害があること、また英語が十分に話せないので質問に立ち会わせることを要求したが、裁判長はそれを却下した。岡本同志は、リッダ闘争の際に偽造旅券を使ったこと、またアラブの解放のために闘ったので、アラブの大地に住む権利があると主張した。また、自分がなぜ逮捕されなければならないのか理解できないと語った。

戸平同志、足立同志が岡本同志の処遇の問題について裁判長に発言を要求したが、却下された。

次に、和光同志への質問が行われた。起訴事実の認否について、パスポートの所持については認めるが、偽造したことは否定すると回答した。和光同志は我々の逮捕の背後には日本警察がいることを暴露した。また判事は予審調書を読み上げ、南部レバノンで訓練を指導していたのかと質問したのに対して、和光同志は組織任務については話せないと、回答を拒否した。

その後、オマイヤ・アブドさんに対する質問が行われた。

第二回公判の中では、国家保安局が起訴状とは違い、初めから赤軍と知って逮捕を行ったこと。それが日本警察による策動であること。また、偽造旅券の所持についても日本政府による不当手配がその根拠にあること、を明らかにした。また身分偽証についても、国家保安局自身が要求したものであった等の点を明らかにできたこと。また、清を法廷の中に引きずり出せたことは大きな成果であった。

しかし、政治裁判にしていくには、全体として政治主張が弱かったこと、また、不当逮捕を明確にすることが十分でなかったことを反省した。

（要旨）

本同志が闘い、二同志が戦死したリッダ闘争が我々の闘いの出発点であることを説明した。また、日本政府が我々の手配を行っているのは、日本政府に対して我々が闘っているからだと主張した。

裁判報告

無罪釈放・送還拒否・政治難民の地位獲得に向けて

1997年6月16日　日本赤軍

日本赤軍メンバー５名の拘束から４ヵ月余りが経過した。日本政府に買収されたレバノン治安当局の一部によって彼らは拘束されたが、１５０人の弁護士がボランティア弁護を申し出るなどアラブ解放勢力の支援・連帯行動により、即時送還を阻止。一時は完全白紙化まで検討させた。現在、赤軍メンバー５名とオマイヤ・アブドさんはレバノン内で裁判を闘っている。６月２８日東京で、日本赤軍・レバノン救援団帰国報告集会が行なわれ、裁判の模様が伝えられた。集会に寄せられた現地からの裁判報告を紹介する。（見出し・編集部）

情況
八月号
［第二期］通巻第七十六号
七月十七日発売
【定価】1,230円（本体1,171円）
定期購読 6回7,000円・12回14,000円

【特集】中国はどこへ行くのか
加賀美光行／谷川道雄／若代直哉／石原亨一／中野清／中島祝／金子秀敏／千坂恭二／山田克利／北小路隆志／金スンオク／平林宣和／道上知弘／坪内隆彦／小島麗逸　他

【連載】浅田光輝◆激動の時代とともに

【単行本】

佐々木孝次著
エディプス・コンプレクスから模倣の欲望へ
本体二五二四円＋税

川村邦光著
民俗空間の近代
若者・戦争・災厄・他界のフォークロア
本体二五二四円＋税

【近刊】
有福孝岳著
行為の哲学
本体二八〇〇円＋税

情況編集部編
全共闘を読む
本体二二〇〇円＋税

〒101 東京都千代田区神田神保町1-48 カトウビル402
電話 03-3233-0031　Fax 03-3233-0036
Web Page: http://www.cup.com/jokyo/
振替 00180-8-49197
情況出版